

第1章 現状と課題

1、飯山市民会館の現状

昭和37年、飯山市の歴史的シンボルである飯山城跡公園内に建設された市民会館は、音楽や演劇をはじめとする芸術・文化振興の拠点として、子どもからお年寄りまで多くの市民に親しまれ利用されてきました。

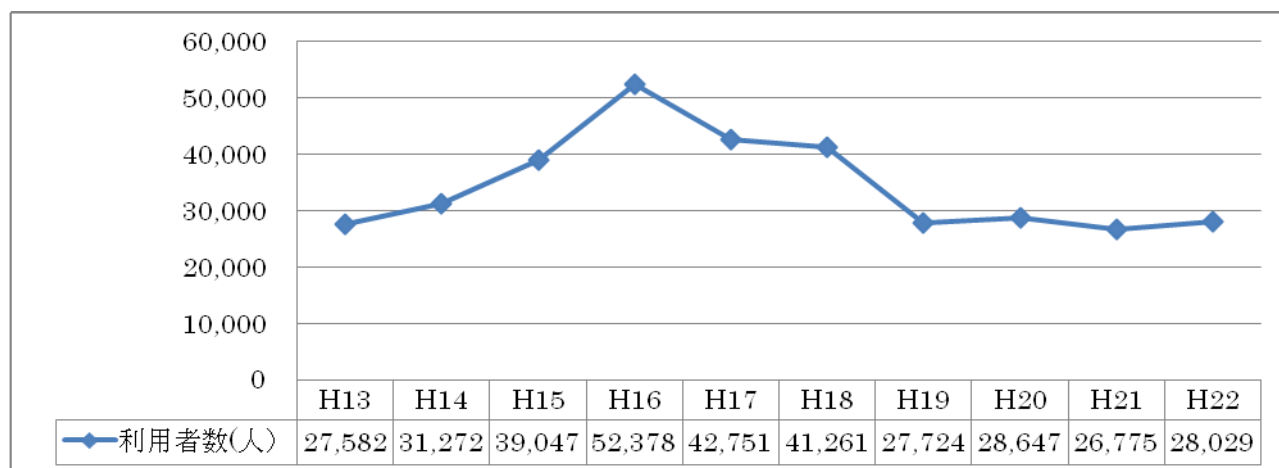
【表1】飯山市民会館の概要

開館	昭和37年10月
経過年数	49年
敷地面積	3,622.5㎡（駐車含まず）
建築面積	1,703.8㎡
延床面積	3,761.5㎡
階数	地上3階（地下1階）
構造種別	鉄筋コンクリート造（RC造）一部鉄骨造（S造）
ホール収容人員	ホール624席（固定席620、車いす4）
その他施設	2F: 第1会議室84㎡ほか2室、3F 大会議室252㎡
維持経費	H20年度968万円、H21年度807万円、H22年度821万円 （人件費除く）
駐車台数	195台（城山公園、高橋まゆみ人形館と兼用）

しかし、平成16年度 52,378 人の利用者数をピークに、平成19年7月に発生した中越沖地震による被害でホール使用が一時閉鎖されるなど、老朽化と併せ建物の耐震性が深刻化し、利用団体の一部は他の施設へ活動場所を替えるなど利用者の数は年々減少傾向となりました。【グラフ1】

【グラフ1】飯山市民会館利用者数 推移（平成13年度～22年度）

単位：人



平成19年度から21年度の最近3か年の施設利用状況から、ホールは土日・祝祭日中心に使用され、施設利用可能日数(概ね300日)に対し25%~30%の稼働率となっています。

また2F・3F会議室は75%を超える稼働率となっており、使用頻度が高くなっています。

【表2】

分野別利用状況では、ホール利用の半数は音楽分野が占め、会議室については舞踏、芸能、展示分野の順で使用されています。【表3】

【表2】飯山市民会館 施設利用日数(稼働率)

	ホール	2F 会議室	3F 会議室
平成19年度	78日(26.0%)	234日(78.0%)	229日(76.3%)
平成20年度	90日(30.0%)	229日(76.3%)	234日(78.0%)
平成21年度	77日(25.6%)	230日(76.6%)	228日(76.0%)

※2F会議室は第1、第2会議室の利用日の総数

※3F会議室は大会議室(小ホール)

【表3】飯山市民会館 分野別利用件数

分野	平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	ホール	会議室	ホール	会議室	ホール	会議室
音楽	34	73	53	30	39	75
芸能	20	91	9	83	15	92
舞踏	7	228	1	223	1	228
集会	13	38	13	3	13	18
芸能祭	12	2	14	0	9	9
展示	0	80	0	46	0	48
その他	2	144	0	188	0	182
合計	88	656	90	573	77	652

2、飯山市民会館の課題

現在の飯山市民会館の主な課題として次の事項が考えられます。

(1) 施設の課題

- ① 建設からすでに49年が経過し、建物や設備など老朽化が著しい状況である。
- ② 現在の市民会館は、建築基準法に合致しない施設であり、耐震診断調査の結果からも建物本体の補強工事が事実上不可能で、近年では度重なる地震の影響を受け、利用者においては活動場所を変更するなど使用を控えるようになった。
- ③ 駐車場不足や急な階段など、多くの市民から使い勝手の悪さが指摘されており、時代のニーズや利用者ニーズに応じた市民サービスには、現施設の改修だけでは限界である。

(2) 立地の課題

- ① 急な坂道を上り下りすることで、特に冬期は足の悪い高齢者や障がい者にとって、不便で行きにくい施設となっている。
- ② 飯山城跡公園内にあり、今後、遺構物の復元など公園整備を計画している中で、文化財保護の観点からも、史跡内に現施設が存在することは将来的に望ましくない。

などが挙げられ、主催者や利用者の双方にとって不便な施設となっており、施設の老朽化や設備の改善、ユニバーサルデザインに配慮した利便性の向上が大きな課題となっています。

なお、こうした意見・要望は飯山市区長会や芸術文化協会などとの懇談会からも同様な意見が寄せられています。